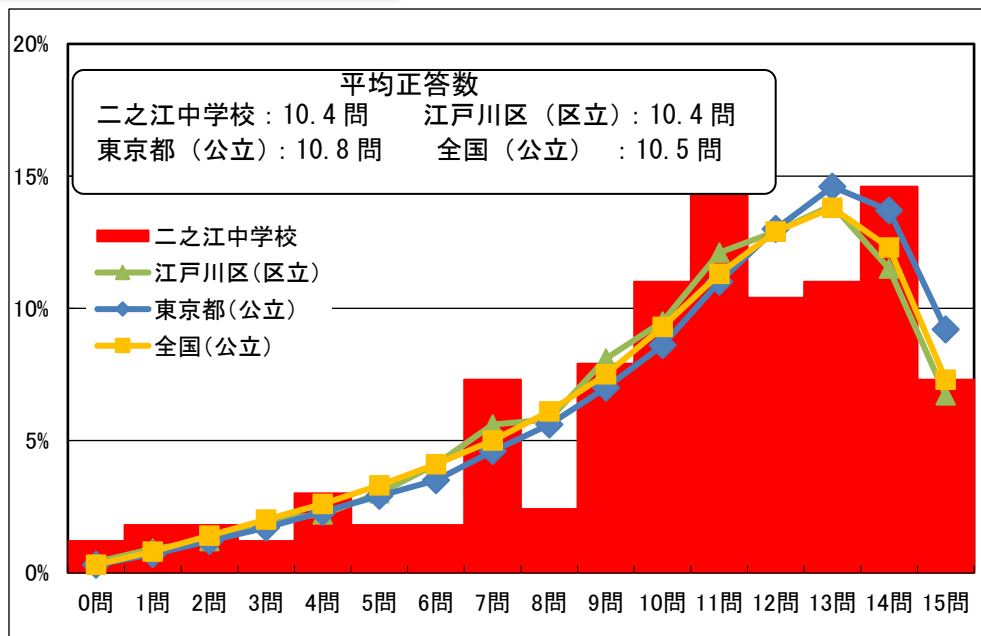
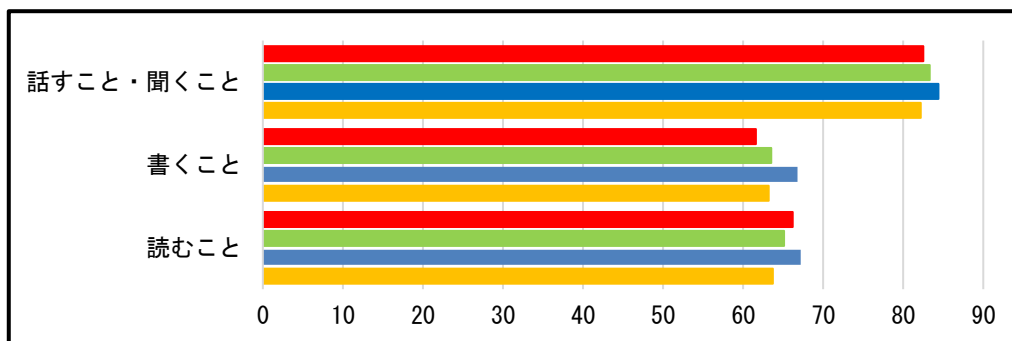
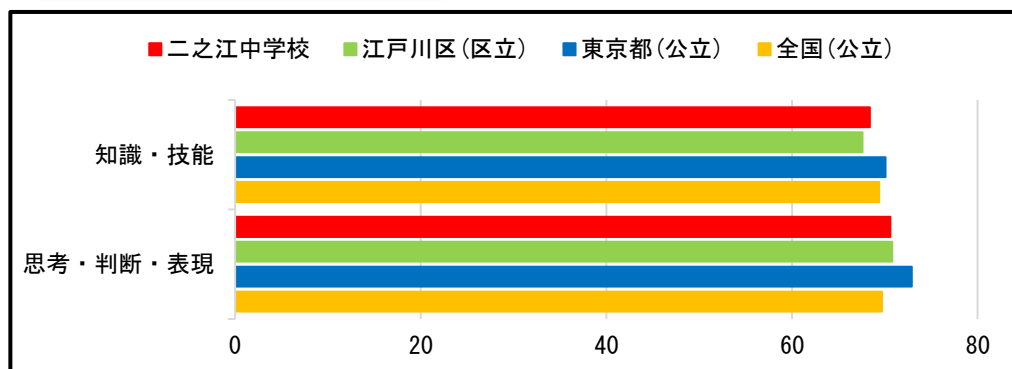


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 二之江中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 13~15問	B層 12問	C層 9~11問	D層 0~8問
二之江中学校	32.9	10.4	34.1	22.3
江戸川区(区立)	18.2	26.8	29.7	25.3
東京都(公立)	22.9	27.6	26.6	22.9
全国(公立)	19.6	26.7	28.1	25.6

【平均正答率の差】

二之江中学校	70%
江戸川区(区立)	69%
東京都(公立)	72%
全国(公立)	69.8%
都との差	-2ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

A層が全国、東京都を大きく上回ることができた。その理由として、コの字型・4人組グループ学習を進め、大問を解くために、複数の資料を読み取る活動に取り組んだ成果だといえる。改善点は、B層がかなり少なくなり、C層が多くなっている点である。授業改善については、資料を読み取る力はついてきているので、「書くこと」に力を入れ、C層をB層にあげていきたい。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合を示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。